

ベトナム語母語話者における漢語由来語彙と固有語彙の区別

佐藤章太

shota.sato51@gmail.com

キーワード: ベトナム語 漢越語 純ベトナム語 漢字文化圏 表音文字言語

要旨

ベトナムは歴史的には漢字文化圏に属し、豊富な漢語由来語彙を持つが、現在は漢字表記を行わず、表音文字のアルファベットで表記している。筆者は、ベトナム語母語話者が、漢語由来語彙である漢越語と固有語である純ベトナム語をどのように区別するのかについて調査した。その結果、使用頻度の高い純ベトナム語が含まれている複合語や、ベトナム語の統語構造でも理解できる漢越語、ベトナム語の統語構造に合わせて語順が入れ替わった漢越語については、純ベトナム語と判断する傾向が見られた。また、日本語や中国語学習を通して漢字を十分に習得している話者については、日本語や中国語で対応する漢字語の知識を用いて判断している可能性も指摘した。

1. はじめに

1.1. ベトナム語について

ベトナム語とは、ベトナム社会主義共和国の公用語であり、ベトナム国内最大民族のキン(Kinh) 族の母語である。また、ベトナム国外では、アメリカ、オーストラリアや近隣のカンボジア、ラオス、タイなども話者がいる。

ベトナム語は言語類型的に、オーストロアジア語族モン・クメール語派ベト・ムオン語群に属する。文構造の面では、語の活用や助詞の膠着がなく、語順により意味が定まる孤立語である。統語的には、主語・動詞・目的語の順に並ぶ SVO 型言語であり、形容詞や名詞は後置修飾型である。音韻的には、語を構成する要素が一つの音節からなる単音節言語であり、音の高低・変化により意味が区別される声調言語である。

ベトナム語の公用表記では、クオック・グー (Quốc ngữ) という名前の、29 個のアルファベットと 5 つの声調記号を組み合わせた表音文字が使用される。

1.2. ベトナム語の漢字受容とローマ字化の歴史

富田 (2000: 8-9)、岩月 (2005: 131-147)、Lê Anh Tuấn (2008: 281-282) によると、ベトナム語の基礎語彙は、オーストロアジア系の語が多い。しかし、ベトナム (特にベトナム北部) は歴史的に漢字文化圏に属してきたため、かつてはベトナム語ではなく、漢字・漢文を正書法として用いていた。そして、現在に至るまでに、ベトナム語は多くの漢語由来語彙を受容したた

め、現代ベトナム語は語彙の約7割が漢語由来といわれており、概念語や専門用語に多い。漢字文化圏の周縁に位置し、漢語由来語彙を受容し続けてきた点では、日本語や韓国朝鮮語とも共通している。ここでは、ベトナム語の漢字受容の歴史的流れと、正式な表記法が漢字からローマ字に移り変わった歴史について概観する。

岩月 (2005: 131-147)、Nguyễn Đình Chú (2008 [2005]: 16-18)、Nguyễn Minh Tường (2008 [2005]: 34-37) によると、1世紀にベトナムを侵略した後漢王朝によって漢字がもたらされ、唐王朝まで続く中国王朝下の時代(北属時代)に十分な発展を遂げ、詩文や仏教著作・翻訳が現代に残された。11世紀にベトナムの李朝が中国から独立して以来、ベトナム独立王朝期においては、政治・法律・教育・官吏登用・文化のあらゆる面で、漢字・漢文のみがベトナム文化の正式な表記法となり、ベトナム文化やベトナム文学の発展に寄与した。13世紀の陳朝では、ベトナム語を表すために、漢字の構造を用いたチュノム(Chữ Nôm)が生み出された。

一方、17世紀になると、キリスト教宣教師がベトナムを訪れ、布教のためのベトナム語ローマ字表記を開発した。19世紀後半にベトナムがフランスの植民地地となると、フランスは漢字・チュノムの廃絶を目指すと同時に、ベトナム語ローマ字表記法の推進を行なった。20世紀前半にはクオック・グー(Quốc ngữ [国語]という漢字語)という名とともに、漢字・チュノムを超える表記法の地位を確立した。第二次世界大戦後にはクオック・グーによる表記法のみが、ベトナムにおける正式な表記法となり、現在に至るまで使用されてきた。

以上のような過程で、現代ベトナム語は漢語由来語彙の割合が多いにも関わらず、表記法は完全にアルファベットのみを用いている。

1.3. 漢越語に対する教育

Nguyễn Đình Chú (2008 [2005]: 18)、岩月 (2013: 28-30) によると、現在のベトナムの初等教育・中等教育において、漢字の字体教育は全く行われていない。しかし、中等教育においては漢語由来語彙を教育する方法が2つ存在している。

1つ目は漢文古典教材である。漢文古典教材では、漢字自体は登場せず、漢字のベトナム漢字音をクオック・グーで記した「翻音(phiên âm)」と現代ベトナム語で意味を訳した「訳義(dịch nghĩa)」で表記されており、それらとともに、漢語由来語彙を一つ一つ解説した注釈が付されている。

2つ目は教科書巻末に収録されている漢字要素表である(表1.参照)。これは、漢字要素を説明しているにすぎず、漢字の字形は印字されていない。この表に掲載されている漢字要素の項目数は、6~8年(日本の小学6年~中学2年に相当)の各学年それぞれ50個、9年(日本の中学3年に相当)が70個の計220個である。この表が授業でどれほど活用されているかは不明だが、生徒自身が自由に検索できるようになっている。しかし、収録数が非常に少ないため、辞書的な利用には限界があると考えられる。

また、ベトナム国内で生活していく上で、漢字学習の必要性は極めて低く、漢字学習者は上

記の漢字チュノム学の学生や日本語・中国語学習者に限定されている。

表1. 7年生の教科書巻末の漢字要素表の一部¹

PHỤ LỤC 付録

BẢNG TRA YẾU TỐ HÁN VIỆT 漢越要素表

文字番号	漢越要素	課	意味	漢越要素を含む語
Thứ tự	Yếu tố Hán Việt	Bài	Nghĩa	Từ ngữ chứa yếu tố Hán Việt
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	<i>bach</i> [白]	6	trắng, (白い) sáng (明るい)	<i>bach cầu</i> , <i>bach cúc</i> , <i>bach đầu quân</i> (đàn [白球] [白菊] [白頭軍] (ご老人を quân gồm các cụ già), <i>bach nhật</i> , [含兵兵] [白日] <i>bach yên</i> ,... [白燕]
2	<i>bán</i> [半]	6, 12	nửa, một nửa (半分)	<i>bán cầu</i> , <i>bán kính</i> , <i>bán thân</i> , <i>bán tín bán [半球], [半徑], [半身] [半信半 ngủ</i> (nửa tin nửa ngờ), <i>quá bán</i> ,... 疑] (半分信じ半分疑う) [過半]

2. 本稿での語の定義と表記

本稿では、次のように語を定義する。ベトナム語の漢語由来語彙を以降、「漢越語」と呼ぶ。漢語由来ではないベトナム語の固有語を以降、「純ベトナム語」と呼ぶ。また、ベトナム語の中で使用される過程で、元の漢字語から変化した漢越語を「越化漢語」と呼び、以下の3つに分類する。1つ目は、意味に変化が生じた漢越語で、「意味的な越化漢語」と呼ぶ。2つ目は、ベトナム語の統語構造（主に名詞形容詞の後置修飾）に合わせて、語順が入れ替わっている漢越語で、「統語的な越化漢語」と呼ぶ。3つ目は、元のベトナム漢字音に変化が生じた漢越語で、「音声的な越化漢語」と呼ぶ。Huỳnh Thanh Xuân (2004: 22) によると、3つ目の「音声的な越化漢語」は、変化の程度が語によって大きく異なり、中には元の漢字音と現在の音が大きく異なっており、元々漢越語であったことが非常に判別しづらいと思われる語が多く存在する。そのため、本稿では、川本 (2011) の中で「訛音（ベトナム語漢字音がさらに訛った音）」と説明されているものを「音声的な越化漢語」と見なすことにする。また、「越化漢語」は「漢越語」の一部と見なす。そして、2語以上（2音節以上）の漢越語において、その1つ1つを「漢越語要素」と呼ぶ。

また、本稿では、次のように語の表記を定める。漢越語については、(1) のようにその漢字を [] で表記する。純ベトナム語については、(2) のようにその意味を () で表記

¹ Bộ Giáo dục và Đào tạo (2013: 151)より引用。筆者が適宜和訳を補足。表中の(1)は教科書上の文字番号、(2)は漢越語を構成する一つの漢字のベトナム語漢字音を表した漢越要素、(3)は収録している課、(4)は意味、(5)はその漢越要素を含む語の一覧である。

する。また、必要に応じて、(2) (3) のように日本語の意味を『 』で補う。統語的な越
化漢語については、(4)のように、語順が逆転する部分に・を挿入する。

- (1) quốc gia [国家] → 「国家」という漢字語であり、「国家」という意味であることを表す。
- (2) nhà nước (家) + (国) ; 『国家』 → 「家」、「国」という意味の純ベトナム語が連続し、「国家」という意味であることを表す。
- (3) sinh viên [生員] ; 『大学生』 → 「生員」という漢字語であり、「大学生」という意味であることを表す。
- (4) viêm não [炎・脳] ; 『脳炎』

3. 先行研究から見るベトナム語母語話者の漢越語意識

3.1. 漢越語を純ベトナム語で置き換える潮流

Nguyễn Đình Chú (2008 [2005]: 23)、Đoàn Lê Giang (2010) によると、1960年代、当時のホ
ーチミン主席が、漢越語の濫用を危惧し、明晰なベトナム語を維持するために、漢越語を純ベ
トナム語で置き換えることを提唱した。このような流れの背景には、漢越語を表音文字のクオ
ック・グーのみで表記しているため、一つ一つの漢越語要素が持つ意味が分からず、誤用や誤
解が生じていた状況があったと考えられる。また、このような運動により、漢越語を排除しよ
うとする傾向がある。以下の(5)～(10)は純ベトナム語による置き換えの例である。

- (5) 『空港』 ... phi trường [飛場] → sân bay (庭) + (飛ぶ)
- (6) 『飛行士』 ... phi công [飛工] → người lái (人) + (操縦する)
- (7) 『領海』 ... hải phận [海分] → vùng biển (区域) + (海)
- (8) 『領空』 ... không phận [空分] → vùng trời (区域) + (天)
- (9) 『潜水艦』 ... tiềm thủy đĩnh [潜水艇] → tàu ngầm (船) + (目に見えない)
- (10) 『火山』 ... hòa diệm sơn [火焰山] → núi lửa (山) + (火)

ここに挙げた純ベトナム語に置き換えられた漢越語は、ある特徴を共有している。それは、
漢越語の中に修飾関係があり、修飾語・被修飾語の順に並んでいる点である。ベトナム語で修
飾関係を表す際、通常は後置修飾で表し、被修飾語・修飾語の順に続く。そのため、このよ
うベトナム語の統語的語順と一致しない漢越語は、ベトナム語母語話者にとって理解しづらく、
純ベトナム語による置き換えの対象になったと考えられる。

3.2. 漢越語を純ベトナム語で置き換えることの限界

分かりづらい外来語を自らの言語で置き換え、より分かりやすいものにするのは極めて合
理的な発想であり、古今東西見られる現象ではないかと考える。つまり、固有語である純ベト

ナム語で表す方が、外来語である漢越語で表すより、理解の面では優れていると考えることができる。しかし、現在ベトナム語の語彙の7割は依然として漢越語であり、純ベトナム語で完全には置き換えられていない。このことは、漢越語を純ベトナム語で置き換えることには限界があることを示している。

Nguyễn Đình Chú (2008 [2005]: 23-24)、Nguyễn Minh Tường (2008 [2005]: 33-34)によると、純ベトナム語が漢越語を超えられない点は、修辞能力である。すなわち、無理に純ベトナム語で置き換えると、漢越語の持つ上品さ、優雅さに欠けるおかしな語感を生み出すということである。伝統的な漢字文化圏の書き言葉は漢文であり、漢字文化圏の周縁地域では書き言葉としての漢文と話し言葉としての固有語には大きな差があり、歴史的にはあらゆる分野において、前者が重視され続けてきた。その影響により、現代ベトナム語だけでなく、現代日本語、現代韓国朝鮮語にも同様の意識があるのではないだろうか。以下の(11)～(14)は、Nguyễn Đình Chú (2008 [2005]: 23-24)、Nguyễn Minh Tường (2008 [2005]: 33-34)から引用したもので、無理に純ベトナム語で置き換えると不自然な語感を生み出す例である。

- (11) học giả [学者] → người học nhiều (人) + [学] + (たくさん); 『たくさん学ぶ人』
- (12) danh nhân [名人]; 『著名人』 → người nổi tiếng (人) + (有名な); 『有名な人』
- (13) nữ giáo sư [女教師]; 『女性教授』 → *giáo sư gái [教授] + (女); 『おんな教授』
- (14) Hội phụ nữ Việt Nam [会・婦女] + [越南]; 『ベトナム女性会』 → *Hội con gái Việt Nam [会] + (女の子) + [越南]; 『ベトナム語女の子会』

(11)、(12)の純ベトナム語で言い換えた表現では「学者」「著名人」といった漢越語の意味やニュアンスを全て代替して表すことができない。また、(13)、(14)については、純ベトナム語で言い換えた表現は容認度が非常に低く、gái (女)という純ベトナム語が、「教師」「会」といった漢越語と連ることができないことを表している。なお、(15)のように、純ベトナム語同士では、比較的自由に連なることが指摘できる。

- (15) bạn gái (友達) + (女); 『ガールフレンド』

3.3. 漢越語と純ベトナム語の区別における限界

日本語母語話者の場合、初等・中等教育の国語教育を通して、音読みと訓読みを意識的に分けて学習する。そのため、日本語の中の漢字語と固有語を区別することは、日本語母語話者にとって、それほど困難ではないといえるのではないだろうか。しかし、ベトナム語母語話者の場合、1.3.で述べたように、初等教育・中等教育の段階における漢字字形教育は行われていない上に、漢越語に対する教育も十分には行われていない。

Lê Anh Tuấn (2008: 286) では、次のような学校教育における現状が報告されている。それは、

学校の国語教員の中にも、使い慣れており理解しやすい語が純ベトナム語であり、あまり使わず理解しづらい語が漢越語であると曖昧に認識している者もいるというものである。このように、学校の国語教員ですら両者を正しく判別できない者がおり、また話者によって両者の識別における意識が大きく異なることが予想できる。

4. ベトナム語母語話者における漢越語に対する意識の調査

4.1. 調査の関心

筆者は漢越語と純ベトナム語をどのように識別するかについて、ネイティブスピーカーの協力のもと、調査を行った。結果を分析する際に、大きく分けて2つの観点に着目したい。1つ目は、「単語」によって、どのような特徴が見られるかである。2つ目は、「調査協力者の属性」（特に日本語や中国語の学習を通じた漢字学習歴の有無）によって、どのような特徴が見られるかである。

4.2. 調査の方法と期間

インターネットを利用したアンケートサイトSurvey Monkey を用いて、インターネット上で回答していただいた。期間は2014年11月13日～2014年12月1日に実施した。

4.3. 調査の対象者と属性

計54名の大学生または大学卒業生のベトナム語母語話者が調査に参加した。個人属性の内訳は次の通りである。男女比については、女性34名（63.0%）、男性20名（37.0%）であった。生年については、1981年生～1996年生まれであり、2014年における年齢ごとの内訳は、18歳6名、19歳14名、20歳6名、21歳7名、22歳4名、23歳2名、24歳3名、25歳5名、27歳2名、28歳2名、30歳2名、33歳1名であり、平均年齢は21.8歳であった。出身地については、北部43名（79.6%）、中部5名（9.4%）、南部5名（9.4%）、無回答1名（1.9%）であった。現在の居住地については、北部43名（79.6%）、中部0名（0%）、南部3名（5.7%）、ベトナム国外7名（13.0%）、無回答1名（1.9%）であり、ベトナム国外の内訳は、日本6名、無回答1名であった。また、大学に在学しているか卒業しているかについては、在学中33名（61.1%）、既卒19名（35.2%）、無回答2名（3.7%）であった。また、確認できている範囲では、半数強が日本語学習歴を持っていた。そのため、漢字学習歴については、中国語学習者などとも合わせて「あり」36名（66.7%）、「なし」18名（33.3%）であった。

以上のように今回の調査協力者には、いくつかの偏りがある。性別については女性に、年齢については若年層に、出身地と現住地については北部に、漢字学習歴については「あり」に偏っている。

4.4. 調査の内容

以下の2つのタイプの質問について回答してもらった。

1つ目は、10個の2音節語の中から漢越語にチェックを入れ、選択する問題を2題用意し、必須回答とした。また、10個の中に意味不明語がある場合に、それを記載する欄を設けた。

2つ目は、調査協力者の個人属性についての質問である。性別、年齢、出身地、現住地、学歴（大学・学科名・在卒）、母語、外国語学習歴（言語名、開始年齢、期間）、漢字学習歴（有無、場所、概数）について質問した。調査協力者のプライバシーを尊重し、いずれの質問も任意回答とした。4.3はこの個人属性の結果をまとめたものである。

また、回答を始める前に、調査協力者にはじっくり考える必要はなく、考えたままに答えてほしいこと、辞書の使用やインターネットでの検索はしてはいけないことを補足した。

4.5. 調査の集計

それぞれの選択肢の単語について、調査協力者全体のうち何名が選択したかをパーセントで示した（選択人数／調査協力者合計人数×100）。これを以下では選択率と呼ぶことにする。

また、日本語学習や中国語学習を通じた調査協力者の漢字学習歴が、どのように結果に影響するかを調べるために、2つのグループを設定する。日本語または中国語学習歴が4年以上あり、かつ既習漢字数が500字を超えている人のグループを「X」とする。一方、日本語・中国語いずれの言語の学習歴もなく、かつ漢字学習歴もない人のグループを「Y」とする。調査協力者の中でXに該当する人は13名（女性9名、男性4名）、Yに該当する人は14名（女性7名、男性7名）であった。

5. 調査の結果と考察

まず、調査で用いたベトナム語の質問文に、適宜和訳を付したものを提示する。次に、全体の傾向や漢字学習歴別の傾向を、データと共に分析する。最後に、結果の考察と分析を行う。

5.1. 質問1(さまざまな分野の用語)

質問1と選択肢は以下の通りである。

* 1 Trong những từ dưới đây có một số từ Hán Việt, hãy lựa chọn các từ Hán Việt.

以下の語の中にはいくつかの漢越語があります。それぞれの漢越語を選択してください。

- ① tin cậy [信²] + (踊る)；『信頼』
- ② ngạc nhiên [愕然]；『驚く』
- ③ cầm quyền (握る) + [権]；『政権を握る』
- ④ vững chắc (強固な) + (確かな)；『しっかりした』

² tin は音声的な越化漢語であり、単独で『信じる』という動詞として使用される。本来の漢字音は tín である。

- ⑤ xây dựng (建てる) + (建てる); 『建築する』
- ⑥ nhiệt liệt [熱烈]; 『熱烈』
- ⑦ lên đường (上がる) + (道); 『出発する』
- ⑧ sắp xếp (並べる) + (整理する); 『整理する』
- ⑨ kỹ lưỡng [伎倆]; 『じっくりと』
- ⑩ đơn giản [単簡]; 『簡単』

Nếu bạn không biết từ nào thì, hãy viết lại ở đây.

もしあなたが分からない語があれば、ここに書いてください。

5.1.1. 質問1の全体的傾向

全体的な選択率と意味不明との回答は図1.1の通り。

まず、漢越語について。最も選択率の高いのが、⑥ nhiệt liệt [熱烈] (66.7%) であり、続いて、⑩ đơn giản [単簡] が並んだ。一方、② ngạc nhiên [愕然] (25.9%)、⑨ kỹ lưỡng [伎倆] (38.9%) は漢越語であるにも関わらず、選択率が極めて低くなった。⑨については、辞書的意味の欄には記述されていないが、非常に意味が似ている kỹ (kỹ); 『巧みに』という単音節の形容詞・副詞が存在する。これは、[技] (もしくは [伎]) という漢越語要素だと考えられるが、Trung tâm Từ điển học (2011: 808) では、漢字は記載されておらず、漢越語として認められていない。このように、純ベトナム語として認識されている言葉を含む語だという認識により、選択率が下がっている可能性がある。

次に、純ベトナム語について。④ vững chắc (22.2%)、⑤ xây dựng (18.5%)、⑧ sắp xếp (13.0%) は漢越語として選択した調査協力者もいる一方で、⑦ lên đường (0.0%) の選択率は特筆に値する。Huỳnh Thanh Xuân (2004: 42) によると、⑦は3.1.で述べた漢越語を純ベトナム語で置き換えたものの1つであり、thượng lộ [上路] という漢越語を、lên (上がる) と đường (道) という日常生活で出現頻度が高い純ベトナム語の基礎語彙で置き換えたものである。また、これは動詞+目的語というベトナム語と同じ統語構造を内包している。このような純ベトナム語による置き換えや統語構造が、純ベトナム的であるという意識を高めていると考えられる。

最後に、漢越語要素と純ベトナム語要素を組み合わせたものについて。① tin cậy [信 (越化漢語)] + (踊る) (35.2%)、③ cầm quyền (握る) + [権] (48.1%) など、漢越語と純ベトナム語の中間的な選択率となった。

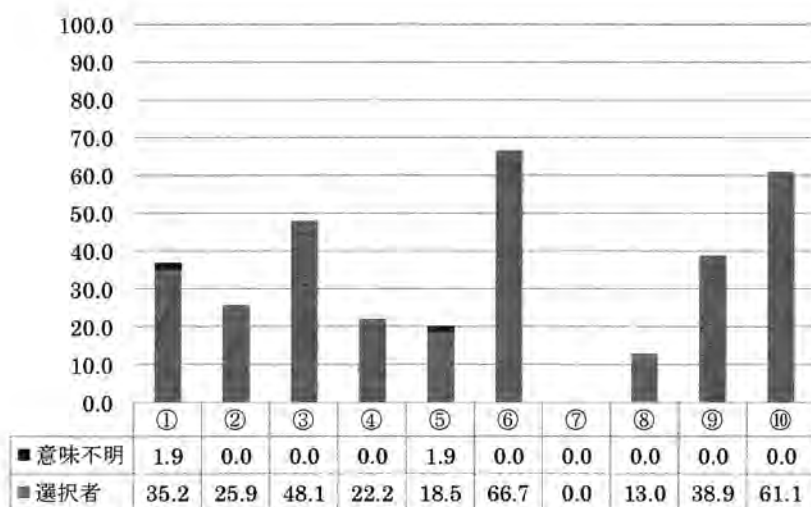


図 1.1. 質問 1 選択率 (%)

5.1.2. 質問 1 の漢字学習歴別傾向

漢字学習歴別の選択率は図 1.2.の通り。

Xの選択率は、漢越語の⑥ *nhiet liệt* [熱烈] (84.6%)、⑩ *đơn giản* [単簡] (84.6%) が高くなり、Yの選択率が最も高かったのは、漢越語要素と純ベトナム語要素の組み合わせである③ *cảm quyền* (64.3%) であった。以下、漢越語、純ベトナム語、両者を組み合わせた単語の3つについて、特徴を考察する。

まず、漢越語について。XとYの選択率を比較すると、② *ngạc nhiên* [愕然]、⑥ *nhiet liệt* [熱烈]、⑩ *đơn giản* [単簡] はXがYより高くなり、⑨ *kỹ lưỡng* [伎倆] はXがYより低くなった。Xの選択率が低くなったのは、② *ngạc nhiên* [愕然] (38.5%)、⑨ *kỹ lưỡng* [伎倆] (15.4%) であり、⑨については5.1.1.で述べた可能性が考えられる。また、Xの選択率で、⑥ *nhiet liệt* [熱烈]、⑩ *đơn giản* [単簡] と⑨ *kỹ lưỡng* [伎倆] の選択率の間に大きな差が生じた理由については、次のように考えられる。⑥ *nhiet liệt* [熱烈]、⑩ *đơn giản* [単簡] は対応する日本語の「熱烈」「簡単」や中国語の「热烈」「简单」も同様の意味で用いられている。しかし、⑨ *kỹ lưỡng* [伎倆] の場合、対応する日本語の「技量(技術、伎倆とも)」や中国語の「伎倆(伎倆とも)」は『腕前』という意味で使われている³。一方、*Trung tâm Từ điển học* (2011: 808) によると、ベトナム語の⑨ *kỹ lưỡng* [伎倆] の意味は『巧みに、注意深く、誤りがないようにすること。』と記載されており、日本語・中国語の意味とベトナム語の意味が大きく異なっている。これは、⑨ *kỹ lưỡng* [伎倆] が意味的な越化漢語であるからであり、日本語や中国語が持つような原義はもはや持っていないと考えられる。つまり、日本語や中国語の漢字知識を持つXの調査協力者が、漢越語かどうか判断する際に、日本語や中国語が同様の意味の漢字語を持つかを、一つ

³ 愛知大学中日大辞典編纂処 (1986: 869) より。

の基準にしている可能性があり、意味の異なる⑨ *kỹ lưỡng* [伎倆] は選択率が低くなったと考えられる。

次に、純ベトナム語について。④ *vững chắc*、⑤ *xây dựng*、⑦ *lên đường*、⑧ *sắp xếp* はいずれも、XとYの選択率に目立った差は見られなかった。

最後に、漢越語要素と純ベトナム語要素を組み合わせたものについて。① *tin cậy*、③ *cảm quyền* はどちらも、XとYの選択率を相対的に比較すると、XがYより低くなっている。このことから、日本語や中国語の漢字知識を持つXの調査協力者が、漢越語かどうか判断する際に、日本語や中国語が同様の意味の漢字語を持つかを、一つの基準にしている可能性があり、純ベトナム語要素を持つ①③は選択されなかったと考えられる。

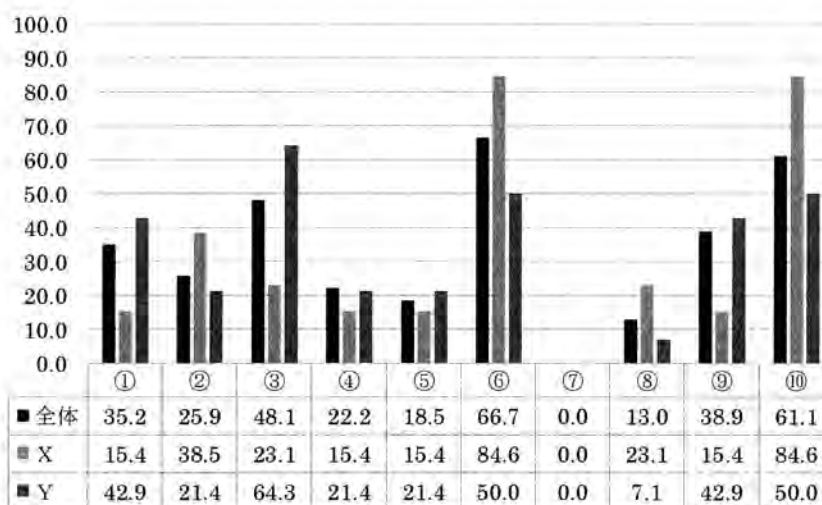


図1.2. 質問1の漢字学習歴別選択率 (%)

5.2. 質問2(医療分野の用語)

質問2の質問と選択肢は以下の通りである。

* 2 Trong những từ dưới đây có một số từ Hán Việt, hãy lựa chọn các từ Hán Việt.

以下の語の中にはいくつかの漢越語があります。それぞれの漢越語を選択してください。

- ① xét nghiệm (細かく調べる) + [験]; 『検査する』
- ② trị bệnh [治病]; 『治療する』
- ③ dấu hiệu (しるし) + [号]; 『兆候』
- ④ lan rộng (延び広がる) + (広い); 『広がる、蔓延する』
- ⑤ bị thương [被傷]; 『負傷する』
- ⑥ truyền nhiễm [伝染]; 『伝染する』

⑦ *thiệt mạng* (損をする) + [命]; 『命を落とす』

⑧ *viêm não* [炎・脳]; 『脳炎』

⑨ *tẩy trùng* [洗虫]; 『消毒する』

⑩ *chữa thuốc* (治す) + (薬); 『投薬治療する』

Nếu bạn không biết từ nào thì, hãy viết lại ở đây.

もしあなたが分からない語があれば、ここに書いてください。

5.2.1. 質問2の全体的傾向

全体的な選択率と意味不明との回答は図2.1の通り。

まず、漢越語について。最も選択率が高いのが、⑥ *truyền nhiễm* [伝染] (74.1%) であり、続いて、⑨ *tẩy trùng* [洗虫] (50.0%) が続いた。選択率の低かったものは、⑤ *bị thương* [被傷] (9.3%)、⑧ *viêm não* [炎・脳] (24.1%) であった。⑤ *bị thương* [被傷] については、ベトナム語の被害受身のマーカーである *bị* [被] が含まれているため、多くの調査協力者が、被害受身マーカー *bị* と動詞 *thương* が連続した統語構造により理解し、漢越語ではないと判断したと考えられる。しかし、実際はそのような統語構造では説明できないと考える。*Trung tâm Từ điển học* (2011: 1518) によると、*thương* [傷] は動詞で「①愛らしく感じる。②(方言)愛する。③不幸を目の当たりにして心が傷つく」の意味が挙げられており、肉体的に傷つくという意味は挙げられていない。一方、川本 (2011: 1676) には「傷、負傷、けが」という意味も登場しており、かつてそのような意味を持っていたと考えられる。よって、現代にかけて漢越語要素 *thương* [傷] の「外傷」という意味は徐々に失われたが、「傷を被る」という中国語の統語構造を持つ漢越語 *bị thương* [被傷] においては、「外傷」の意味が失われずに保存されている。しかし、現代の話者はそれを1語の漢越語としてとらえているのではなく、ベトナム語の被害受身マーカー *bị* の影響で、ベトナム語の統語構造を用いて再解釈している可能性がある。⑧ *viêm não* [炎・脳] については、統語的な越化漢語である。*Trung tâm Từ điển học* (2011: 1725)、川本 (2011: 1801) では、*viêm* [炎] は単独で「炎症」の意味で用いられ、(16) (17) のように、漢越語・純ベトナム語関係なく、様々な体の部位を後接させて、「～炎」という言葉を生産的に作る。

(16) *viêm họng* [炎] + (のど) ; 『咽頭炎』

(17) *viêm phổi* [炎] + [肺⁴] ; 『肺炎』

また、*Trung tâm Từ điển học* (2011: 1215) によると、(17) の古い形で、現在は使用頻度がとても低くなっている漢越語として (18) を挙げている。

⁴ *phổi* は音声的な越化漢語であり、単独で『肺』という名詞として使用される。本来の漢字音は *phé* である。

(18) *phế viêm* [肺炎] ; 『肺炎』

以上より、かつては中国語の統語構造に従った、「(部位を表す漢語) + [炎]」が用いられていたが、音声や統語構造の面で越化が起り、現在では「[炎] + (部位を表す語、純ベトナム語も含む)」という形が一般的になったと考えられる。このように、漢越語の統語構造の越化は、純ベトナム語の統語構造に当てはめることであり、選択率を下げる大きな要因となっている可能性がある。

次に、純ベトナム語について。④ *lan rộng* (3.7%)、⑩ *chữa thuốc* (3.7%) は、選択率が非常に低くなった。これは、*rộng* (広い)、*thuốc* (薬) といったような日常生活での出現頻度が高いと予想され、単独で使用される基礎語彙を持っており、これらの要素が純ベトナム的であるという意識を高めているからだと考えられる。

最後に、漢越語要素と純ベトナム語要素を組み合わせたものについて。① *xét nghiệm* (細かく調べる) + [験] (72.2%)、③ *dấu hiệu* (しるし) + [号] (46.3%)、⑦ *thiệt mạng* (損をする) + [命] (63.0%) と50%前後の選択率になり、人により漢越語か純ベトナム語の判断が大きく異なることを意味している。

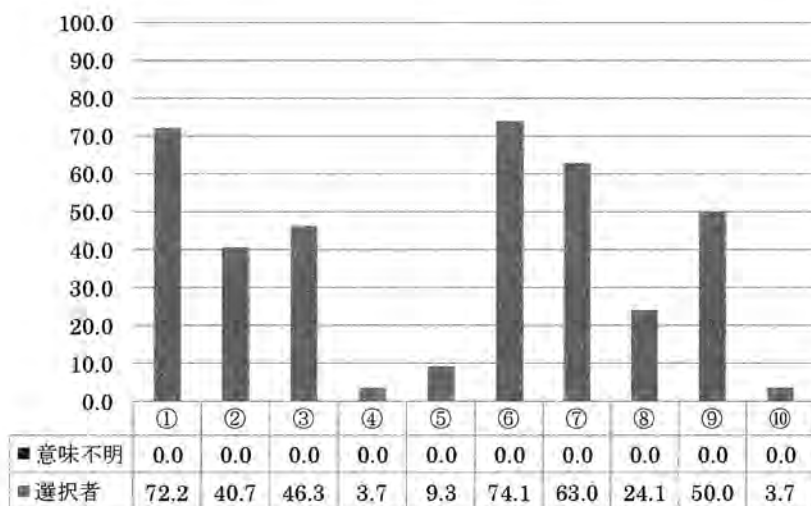


図 2.1. 質問 2 選択率 (%)

5.2.2. 質問2の漢字学習歴別傾向

漢字学習歴別の選択率は図 2.2.の通り。

Xの選択率が最も高かったのは、漢越語の⑥ *truyền nhiễm* [伝染] (100.0%) であり、Yの選択率が最も高かったのは、漢越語要素と純ベトナム語要素の組み合わせである⑦ *thiệt mạng*

(78.6%)であった。以下、漢越語、純ベトナム語、両者の組み合わせの3つについて、特徴を考察する。

まず、漢越語について。XとYの選択率を相対的に比較すると、② *trị bệnh* [治病]、⑥ *truyền nhiễm* [伝染]、⑧ *viêm não* [炎・脳]、⑨ *tẩy trùng* [洗虫] はXがYより高くなった。一方、⑤ *bị thương* [被傷] はXが低く15.4%、Yは0.0%となり、5.2.1で述べた可能性が考えられる。また、Yの選択率で、② *trị bệnh* [治病] (21.4%)、⑧ *viêm não* [炎・脳] (14.3%) が低くなった理由について、⑧ *viêm não* [炎・脳] は5.2.1で述べた可能性が考えられる。一方、② *trị bệnh* [治病] は *trị* [治] と *bệnh* [病] という漢越語要素が、単独で「治す」「病気」という意味として用いられる上に、動詞+目的語というベトナム語の統語構造の順に一致するため、漢字知識のないYの調査協力者が、② *trị bệnh* [治病] を一つの語ではなく、動詞 *trị* [治]; 『治す』+目的語 *bệnh* [病]; 『病気』という統語構造の一部として捉えたために、選択率が低くなった可能性がある。

次に、純ベトナム語について。④ *lan rộng*、⑩ *chữa thuốc* はいずれも、XとYの選択率に目立った差は見られず、共に低くなった。

最後に、漢越語要素と純ベトナム語要素を組み合わせたものについて。XとYの選択率を相対的に比較すると、⑦ *thiệt mạng* はXがYより低くなっている。質問1の① *tín cậy* や③ *cảm quyền* のように、日本語や中国語の漢字知識を持つXの回答者が、漢越語かどうか判断する際に、日本語や中国語が同様の意味の漢字語を持つかを、一つの基準にしている可能性がある。しかし、① *xét nghiệm*、③ *dấu hiệu* は、XとYの選択率に目立った差は見られなかった。

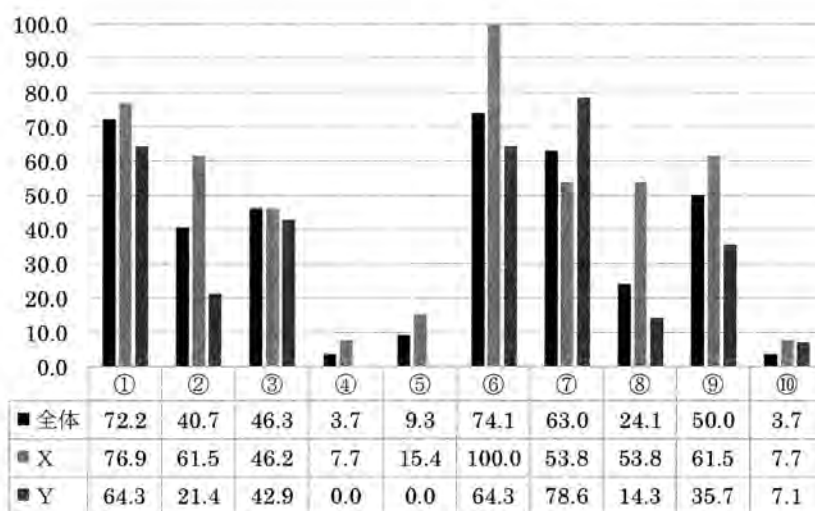


図2.2. 質問2の漢字学習歴別選択率 (%)

6. まとめ

まず、単語自体の傾向として、以下のような可能性が考えられる。

(19) 使用頻度が比較的高い1音節の純ベトナム語（もしくは漢語由来であるが、現在では純ベトナム語と考えられているもの）が含まれると、純ベトナム語として判断されやすい（質問1⑦ *lên đường*、質問1⑨ *kỹ lưỡng* [伎倆]、質問2④ *lan rộng*、質問2⑩ *chữa thuốc*など）。

(20) ベトナム語の統語構造で理解できる漢越語（質問2② *trị bệnh* [治病]、質問2⑤ *bị thương* [被傷] など）や統語的な越化漢語（質問2⑧ *viêm não* [炎・脳]）は、純ベトナム語として判断されやすい。また、3.1.で述べたように、ベトナム語の統語構造と相容れない漢越語が純ベトナム語で置き換えられたことから、そのような漢越語は話者にとって純ベトナム語とは異なる語彙として捉えられている可能性があり、逆に、ベトナム語の統語構造と相容れないものが漢越語として判断されやすいとも考えられる。

次に、話者の日本語・中国語学習を通した漢字学習歴による傾向として、以下のような可能性が考えられる。

(22) 日本語・中国語学習を通した漢字既習者は、対応する漢字語が日本語・中国語でも同じ意味で用いられている場合は、漢越語だと判断されやすく（質問1② *ngạc nhiên* [愕然]、⑥ *nhật liệt* [熱烈]、⑩ *đơn giản* [単簡]）、意味内容が日本語・中国語とは異なる意味的な越化漢語の場合は、純ベトナム語だと判断されやすい（質問1⑨ *kỹ lưỡng* [伎倆]）。

参考文献

愛知大学中日大辞典編纂処（1986）『中日大辞典』増訂第2版。東京：大修館書店。

Bộ Giáo dục và Đào tạo (2013) *Ngữ văn 7 tập hai. Tái bản lần thứ mười*. Hà Nội: Nhà xuất bản Giáo dục Việt Nam.

Huỳnh Thanh Xuân (2004) *Từ Hán Việt trong tiếng Việt hiện đại*. Thành phố Hồ Chí Minh: Nhà xuất bản Đại học Quốc gia Thành phố Hồ Chí Minh.

岩月純一（2005）「近代ベトナムにおける『漢字』の問題」村田雄二郎、C・ラマール（編）『漢字圏の近代—ことばと国家』131-147。東京：東京大学出版会。

———（2013）「現代ベトナムにおける『漢字・漢文』教育の定位」『中国—社会と文化』28: 28-44.

川本邦衛（2011）『詳解ベトナム語辞典』東京：大修館書店。

Lê Anh Tuấn (2008) *Mấy vấn đề đặt ra từ thực tế giảng dạy Hán Nôm cho giáo viên dạy văn phổ thông cơ sở*. Trên: Trịnh Khắc Mạnh (biên tập) *Hán Nôm học trong nhà trường*, 281-293. Hà Nội: Nhà xuất bản Khoa học Xã hội.

Nguyễn Đình Chú (2008 [2005]) Cần khẩn trương khôi phục việc dạy chữ Hán trong nhà trường phổ thông. Trên: Trịnh Khắc Mạnh (biên tập) *Hán Nôm học trong nhà trường*, 16-25. Hà Nội: Nhà xuất bản Khoa học Xã hội. (Luận văn này vốn là được đăng vào năm 2005 trên: Viện Nghiên cứu Hán Nôm, *Tạp chí Hán Nôm* 2 (69): 3-10. Hà Nội.)

Nguyễn Minh Tường (2008 [2005]) Suy nghĩ về lợi ích của việc dạy chữ Hán cho lớp trẻ hiện nay. Trên: Trịnh Khắc Mạnh (biên tập) *Hán Nôm học trong nhà trường*, 32-38. Hà Nội: Nhà xuất bản Khoa học Xã hội. (Luận văn này vốn là được đăng vào năm 2005 trên: Viện Nghiên cứu Hán Nôm, *Tạp chí Hán Nôm* 3 (70): 3-7. Hà Nội)

富田健次 (2000) 『ヴェトナム語の世界』東京：大学書林.

Trung tâm Từ điển học (2011) *Từ điển tiếng Việt*. Hà Nội: Nhà xuất bản Đà Nẵng.

参考サイト

Đoàn Lê Giang (2010). “Cần khôi phục việc dạy chữ Hán trong nhà trường”. Tuổi trẻ (trên Internet), 26/6/2010.

<http://tuoitre.vn/tin/tuoi-tre-cuoi-tuan/20100626/can-khoi-phuc-viec-day-chu-han-trong-nha-truong/386515.html> 最終閲覧日2015年4月11日。

Survey Monkeyホームページ <https://jp.surveymonkey.com/> 最終閲覧日2015年4月11日。

The Distinction between Sino-Vietnamese and Indigenous Vietnamese Words in Vietnamese Native Speakers' Judgment

SATO Shota

Keywords: Vietnamese, Sino-Vietnamese word, Vietnamese native word, The Hanzi cultural sphere, Alphabetic writing system

Abstract

As Vietnamese belongs to the Hanzi cultural sphere historically, it has a great number of Sino-Vietnamese words, but as of present, Vietnamese writing system is based on alphabets. The author investigated the ability of Vietnamese speakers to distinguish between Sino-Vietnamese and Vietnamese native words. The results are as follows: the compound words which include a Vietnamese native word of high frequency, the Sino-Vietnamese words compatible with Vietnamese syntactic construction, and the Sino-Vietnamese words whose constituent order is changed to Vietnamese syntactic construction are liable to be considered as Vietnamese native words. Furthermore, the Vietnamese speakers who have obtained enough knowledge of Hanzi (Chinese characters) through the study of Japanese or Chinese are likely to identify the origin of Vietnamese words more correctly than those without such knowledge.

(さとう・しょうた 東京大学大学院修士課程)